

タイトル	<p style="text-align: center;">しゆたいてき とく たわら こ 「主体的に取り組む田原っ子をめざしたしかげづくり」</p> <p style="text-align: center;">せいかつか そうごうてき がくしゅう じかん かつどう ひび とりく ～生活科や総合的な学習の時間の活動や日々の取り組みからつながる～</p>
がっこうめい 学校名	しじやうなわてしりつたわらしやうがっこう 四條畷市立田原小学校

【取り組みの概要】

生活科では、1年生で「昔遊び」を通して、地域の方々から教わり、自分の気に入った「昔遊び」を休み時間を中心に練習している姿が見られました。2年生は、田原台ひまわりこども園の園児を「おもちゃランド」に招待するために、自分たちが考えた「おもちゃランド」を一生懸命に作成していました。

総合的な学習の時間では、社会見学した場所やゲストティーチャーとの出会いから学んだことをきっかけに学びを深めました。3年生は認知症サポーター、4年生は手話通訳者からのお話をとおして「誰にもやさしい社会の在り方」について学びました。5年生は水泳のオリンピック、6年生は、サッカーガンバ大阪の選手とのふれあいをとおして、「夢や希望をもつことの大切さ」について考えを深めました。人権教育のLGBT「レスビアン」当事者の方から「性の多様性」について、3年生から6年生の児童と保護者、教職員も一緒に学ぶことができました。

自主学ノートでは、学校全体の取り組みとして自ら興味関心のあるテーマを設定して、自分の調べたいことや興味のあることをノートにまとめました。子どもたちのノートはコピーを廊下に掲示し、内容の事例を校内に発信しました。

「自立した学習者」の育成をめざした「学習法」の推進では、校内研修で教職員が講師の方から学んだことを実践し、児童の指導に活かすことができました。6年生の児童が学習サポートとして休み時間を利用して、他の学年の児童に勉強の仕方を教えに行く取り組みに活かすなど、子どもが主体となる活動が、多くみられるようになりました。

